

2012年度改訂第6版

監修の序

本書は、研修医の方々や医療の第一線で多忙な診療に従事しておられる先生方が、診断および治療を迅速に進めていただけるように、診断の要点と薬品を系統的に整理し、持ち運びできるようにポケット判としております。

本書も初版より毎年改訂を行い、第6版となりました。毎回、読者の皆様から次版につながる貴重なご意見をお寄せいただいています。このたびの改訂にあたりまして、大変参考になりました。「多忙な診療の中でかゆいところに手が届く1冊」として携帯していただけますように、より読みやすく、より利用しやすく、を目指して改訂を行いました。

今回の改訂の主眼は、3点です。まず第1点めですが、どの分野でも必須である消炎・鎮痛薬のNSAIDsにつきましても、諸科にわたって使われる薬剤の章に集約し、「NSAIDs処方一覧」の項を新たに設けました。処方にあたっての基本的事項や副作用等注意すべきポイントを簡潔明瞭に記載いたしました。第2点めとして、日常診療の場でちょっと使いたい計算式がすぐに見られるように、「日常診療で役立つ公式」を付録に追加いたしました。さらに第3点めとして、アイソザイムパターンやウイルス性肝炎等の検査フローがすぐに分かる「検査備忘録」を付録の中に設けました。

皆様に本書が一層親しまれ愛されることを心より願いながら、2012年度版をお届けいたします。

2012年1月

梶井英治